

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 美浜町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に訪問し、金融、税務、労働等の経営指導をすることにより経営や技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を含め、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 402社 ・巡回窓口指導件数 961件 ・課題解決提案件数 16件 ・経営力向上計画認定1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 96.1%)	1000	961	指標 課題解決提案件数 (達成度 80.0%)	20	16	小規模事業者の良き相談相手として企業の体質改善支援及び各種施策普及を図ることが出来た。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	経営指導員だけでなく他の職員も巡回指導を実施しているが、さらに強化し全職員体制で巡回し、件数を増加していきたい。
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	・指導対象者数 78人 ・指導延日数 647日 ・指導延回数 898回	小規模事業者	指標 指導延回数 (達成度 136.7%)	657	898	指標 (達成度 %)			記帳機械化利用者については、年間を通した経理事務の合理化を図ることができた。決算時においては正確な決算書、確定申告書の作成指導が実施された。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	記帳機械化対象者を今後増加させ、対象者件数、指導件数の増加に努めたい。
講習会等	経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講予定者数 集 団 8回 29人 個 別 12回 16人 計 20回 45人	小規模事業者	指標 集団指導回数 (達成度 114.3%)	7	8	指標 個別指導回数 (達成度 133.3%)	9	12	小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題について、事業者の資質の向上が図られた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	武豊町、南知多町の五商工会合同で開催する講習会が多いため、今後は単会開催の講習会を増加させたい。
祭典事業	産業まつりを開催することにより、その集客力をいかして地域の経済活動を促進し地域の産業を広く住民へのPRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	・美浜町産業まつり 出店企業・団体数 21企業	小規模事業者	指標 出店企業・団体数 (達成度 116.7%)	18	21	指標 (達成度 %)			自店のPRと販売促進に繋げることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	新たな地域資源、農工商連携開発商品等もあり、幅広く出店者を募集し、各商店の販売促進に寄与していきたい。
商店街・街づくり事業	プレミアム商品券発行により、販売促進及び消費喚起を図り、消費の町外流出を防止する。域活性化、魅力ある街づくりのため、花一杯運動を実施。商店街の活性化のため、街路灯の維持、管理を実施。	・商品券発行額 4,400万円 ・花一杯運動 延来場者数 541人 ・街路灯維持管理 街路灯226基・アーチ2基	小規模事業者	指標 商品券発行額（万円） (達成度 100.0%)	4400	4400	指標 花一杯運動来場者数 (達成度 90.2%)	600	541	参加店の80%以上使用され販売促進と消費町外流失にも繋がった。花配布により、商店街の活性化につながった他会員の50%以上が来場し交流の場にもなった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 現行どおり	30年度プレミアム商品券の発行を一時中止。美化運動は広く会員に周知を行い、商店街美化運動の協力を要請する。
産業活性化事業	地域産業活性化のため、地域資源の活用、PRを行い、地産地消の推進を行う。MIHAMA商工会サミットを開催し、産業振興に繋げる。また、受注機会を図るため、有資格者による無料リフォーム相談会を実施。	・特産品・認定品PR活動 PR回数 4回 ・無料リフォーム相談会 構成事業所数 9企業 ・MIHAMA商工会サミット 参加商工会数 4商工会	小規模事業者	指標 構成事業所数 (達成度 90.0%)	10	9	指標 特産品PR回数 (達成度 100.0%)	4	4	四商工会が一同に会し、情報交換、交流を図ることにより、活性化と産業振興に繋げることができた。地域住民の住環境が向上するとともに、構成員の受注機会の増加があった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 現行どおり	30年度は会長会議を開催し、情報交換、特産品販売を積極的に推進。今後、積極的な周知を行い、事業を推進する。
経営強化事業	産（商工会会員）官（美浜町）学（日本福祉大学）の連携により情報交換、交流の場を提供し、情報を収集し、経営計画立案の一助とする。	・異業種交流会 参加者数 112名	小規模事業者	指標 交流会参加者数 (達成度 93.3%)	120	112	指標 (達成度 %)			小規模事業者が自分の業界情報だけでなく、多方面にわたる情報を収集することができるとともに、交流することにより人脈が広がり、自社の営業活動に活用することが可能となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	産官学の交流により実りのある異業種交流会を実施する。出席者の満足度は高いので今後も積極的に実施する。
調査・広報事業	小規模事業者関連の施策普及と、他商工会の事業活動の情報を定期的に提供するため合同会報を発行する。	・広報誌「風」発行 発行回数 4回	小規模事業者	指標 会報誌発行回数 (達成度 100.0%)	4	4	指標 (達成度 %)			各種施策を小規模事業者に周知することにより情報提供を行うことができた。所属商工会だけでなく各商工会の事業予定や報告を行うことにより事業内容を周知することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	情報収集、情報提供のため発行は必要で今後も内容を充実させ、定期で発行していく。
青年部・女性部事業	青年部員・女性部員間での交流や社会福祉を通して地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部・女性部事業 事業開催回数 17回	小規模事業者	指標 事業開催回数 (達成度 141.7%)	12	17	指標 (達成度 %)			積極的にセミナー等に参加し、部員の資質の向上、部員強化、部員増強、部員交流を深めることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	後継者不足から部員数が年々減少。少ない部員の出席率向上を促し、郡連主催の研修会にも積極的な参加を推進する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 美浜町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足		
部会・委員会事業	部会、委員会、同業種、支部事業により交流を深め、情報を収集するため、部会、支部事業を指導、運営。	・部会、委員会、支部運営指導事業 開催回数 4回	小規模事業者	指標 開催回数 (達成度 66.7 %)	6	実績数値 4	指標 (達成度 %)		実績数値		円滑な部会、支部運営を実施することにより、小規模事業者に情報提供を行い、小規模事業者の交流を図ることができた。	総合評価 B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	会議開催回数は減少したが、部会ごとの積極的な施策を実施するため、部会事業にさらに力を入れ、各事業を推進していく。
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の安定を図るために、各種共済制度の普及や事業主の退職金の確保、健康診断の実施により、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済の普及及び加入促進 中小企業共済加入 16口 ・健康診断事業 開催回数 4回 受診者数 50名	中小・小規模事業者	指標 中小企業共済加入人口 (達成度 80.0 %)	20	実績数値 16	指標 健康診断受診者数 (達成度 116.0 %)	50	実績数値 58		福利厚生が充実し、長期安定雇用につなげることができる他、法定検診内容を実施することにより労働基準法に定められている健康診断をクリアすることができた。	総合評価 A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	福利厚生の充実と収益事業に繋がるため、積極的に増強を図っていく。健康診断は必要であり、周知を行い、積極的に推進する。
雇用・労働事業	労働保険届出等を行うことにより、事務負担を軽減し、適用促進及び保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。「知多地域学生就職情報センター」に参画し、地元企業の採用活動をサポートする。	・労働保険事務組合 受託事業所数 107事業所 対象従業員数 356人 ・就職情報誌の発行、合同会社説明会の開催 参加企業数（管内）4社	中小・小規模事業者	指標 受託事業所数 (達成度 103.9 %)	103	実績数値 107	指標 参加企業数（管内） (達成度 200.0 %)	2	実績数値 4		中小事業主の事務処理の負担軽減と労働保険未手続き事業所に対する適用促進が図られた。学生に情報提供ができるとともに、各企業が人材確保ができた。	総合評価 A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	事務軽減のため、必要性の高い事業であり、積極的に推進する。企業への優秀な人材確保のため推進していく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。